



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

3月号 MAR 2017

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



2月20日～22日 九州地区玉葱契約圃場

今期府県産玉葱 現在順調も油断禁物！！

今年の2月は現在のところ大雪も降らず、ほっとしています。関東では2月17日には春一番が吹きました。春一番とは関東地方の場合以下の条件を満たした場合に気象庁から発表されます。1. 立春から春分 2. 日本海に低気圧 3. 関東地方に強い南風が吹き、気温が上がる 具体的には東京で8メートル以上の風が南寄りから吹いた場合とのことです。2017年2月17日は東京で南南西から風速18メートルの風が吹き、気温も17.5℃まで上昇した時点で、春一番の発表となりました。なんだか春一番という言葉は爽やかなイメージがありますね。いよいよ春の始まりという雰囲気がありワクワクします。しかし実際には今年もそうですが、春一番が吹いた後は一旦真冬の寒さとなることが多いそうです。油断してはいけませんね。ちなみに北海道、東北、長野、山梨、沖縄においては春一番の観測自体をしていないのだそうです。

さて、冬から春へと気温の上昇につれて、府県産の玉葱もいよいよ肥大期に向かいます。2月のマルト便では今年もべと病が入り始めているとの情報をお伝えしました。玉葱の生育において病気が広がる要因は多雨と気温上昇です。まず、雨が多すぎると玉葱には良いことはありません。干ばつに不作無しといいますが、ある程度の干ばつであれば人の手で灌水等によるコントロールができるからであると思います。ある程度というところが大事ですが、。いずれにせよ平年並みという天候は無くなってしまっているようですので、「これまでと違うんだ」という意識のもとに物事を進めて行かないといけません。

2月20日より玉葱圃場を中心に熊本、佐賀の産地様を訪問して現在の状況を見させていただきましたのでご報告をさせていただきます。

九州全般になりますが、9月・10月は非常に雨が多かったとのことです。玉葱だけではなく、この時期に播種される作物は大概種を流されてまき直しとなってしまったようです。キャベツやほうれん草では、

まき直しの影響から生育遅れが見られ、出荷量が少ない状況が続いていました。年内はその後も雨が多くの状態が続き、多くの野菜が苦戦となったようです。玉葱においては播種が9月20日頃から始まりましたが、佐賀唐津ではやはり大雨により種が流されてまき直しをした生産者様もいらしたようです。九州管内では年内中に定植を終了することを一つの目安としています。しかし、殆どの生産者様が1月25日頃までかかってしまっているのが今期の状況だそうです。やはり雨が影響しています。その際に心配なのが、苗の老化と栽培期間です。苗を適期に定植できないと、苗床で成長しすぎてしまうため、結果として根の状態が悪くなり玉葱生育の妨げとなります。また、定植が遅れると畑での生育期間が物理的に短くなってしまいます。天候要因等により遅れが生じている場合、梅雨の影響や田んぼの作業の影響で十分に生育しないまま収穫をせざるを得なくなるリスクが高まります。このように定植の遅れは良いことはありません。今年の九州産玉葱はそういう意味で作柄予測としては平常時よりリスクが一段階高くなると思います。

病気も懸念材料の一つです。去年は佐賀県を中心にベト病が蔓延し、過去例の無い凶作となってしまいました。既報の通り今年もベト病の発生が各地で確認されています。これで不作のリスクとしてはもう一段階上がります。状況としては凶作となった昨年と同様の流れとなっております。唐津でのお話によると本年度は防除の徹底を図るとのことでした。昨年当然防除の徹底を図っていたはずなのに...と思いましたが、去年はまだ油断があったというお話を伺いました。まさかあそこの凶作になるとは生産者様誰もが思ってもみなかったとのことでした。油断・慢心があったことを反省し、本年は徹底して防除体制を見直すというお話を伺いました。佐賀県では県全体での一斉防除を徹底し、また各生産者様自身も圃場管理の体制を見直し、病害虫対策に万全を期すように努めると約束をさせていただきました。

1月以降の天候に関しては大きな降雪も無く昨年よりは安定しています。実際に熊本・佐賀で見た玉葱圃場については昨年よりも状態は良いように感じました。去年は病気対策において、対策がまっとうできず大きな失敗をしたことを糧に、絶対に今期は対策を実行して平年以上の収穫量になることを期待しています。

結論としては現時点では不作のリスク要因はあれど、玉葱の生育状況としては順調な推移といえます。弊社契約九州産地では、早生玉葱は4月中旬からの収穫、中・晩成玉葱は5月後半頃からの収穫となる見込みです。マルチ商事では定期的な圃場視察、生産者様との会話を今期は徹底して行って参ります。

営業課長中村のマルチ便PLUS! Ver2017

今月もどうぞよろしくお願いたします。
3月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	品質は順調です。2LサイズとL小サイズ中心に入荷しています。加工規格(B品)の入荷はほとんどなくなりました。3月になり気温が上がってきます。原料在庫は最小限にとどめ、品質の維持に努めます。
中国	3月下旬まで現行産地の甘粛省を使用する予定です。産地は終盤となりましたが例年よりは良質のものが入荷しています。相場は堅調で上がりはしませんが、急激に下がることもないという状態です。次産地である雲南省の案内はまた改めてさせていただきます。
輸入 (黄玉、赤玉)	アメリカ産の品質良好です。トラブルなく3月中に終売となります。輸入枠はNZ産へ切り替わっていきます。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315